令和３年度第１回栄地区協議会　会議録（概要）

●会議を開催した日時及び場所

日　時　　令和３年５月 27 日（木）　午前 10 時～午後０時５分

場　所　　三条市役所栄庁舎　３階　教育センター中会議室

●出席委員（◎会長、〇副会長）

佐藤　洋一	中村　文雄	長野　　功	〇髙橋　栄作
◎殖栗　孝雄	渡邉　操	江口　修浩	堀内　靖記
宮島　敏明	長谷川勝榮	島影　正幸	中村　貴子
鈴木　正道	関崎　敏夫	（14 人）	

（欠席委員）　なし

●出席者

三条市長　滝沢　亮

総務部長　笹川　浩志

政策推進課　課長　米持　克広

栄サービスセンター　センター長　大橋　信彦

政策推進課　政策推進係　係長　中村　拓也

栄サービスセンター　総務グループ長兼総合窓口グループ長　阿部　修造

政策推進課　政策推進係　主任　吉田　玲子　　主事　織原　勇人

●傍聴者

なし

●報道機関

三條新聞社

●内　容

１　開　会（午前 10 時 00 分開会）

２　委嘱状交付

３　市長挨拶

４　出席者紹介

５　議　事

（1）会長及び副会長の選出について

会長に殖栗委員、副会長に髙橋栄作委員を選出

(2) 行政評価に基づく令和２年度事後評価について

（政策推進課長　説明）

資料№.１－１～№.１－３により行政評価に基づく令和２年度行政評価事後評価について説明

～質　疑～

（鈴木委員）

行政評価では「Ｂ」評価が多く、また、今後の課題が明確になっていないと感じる。Ｂ評価をＡ評価に持っていくような、もっと具体的な目標を持って取り組むべきと思うがどうか。

（滝沢市長）

我々を含めて行政は、しっかりと目標を持って次の取組を考えること、いわゆるＰＤＣＡプランの作成が上手くないと感じている。市民の声、委員の意見をしっかりと踏まえて、次のアクションが明確になるようにしていきたい。

（宮嶋委員）

資料№.１－３、７ページにある未婚化・晩婚化対策の推進については、女性だけでなく男性へのアプローチや具体的な取組が必要と思うがどうか。

（滝沢市長）

未婚化・晩婚化対策や婚活イベント等は、既に民間が取り組んでいることから、今後、市が取り組む予定はない。色々な場面で、男性だから、女性だからといったことがないように、ジェンダーのバランスを持って政策を進めていきたい。

（佐藤委員）

栄商工会として意見を申し上げたい。市の様々な事業を見ると、八十里越を目玉に下田を中心としたビジョンが多く、栄地域のビジョンが全く見えてこないと感じている。この地域の方向性が全く分からない。栄地域は、県の中心地でもあることから10年後、20年後、30年後を見据えて、希望を持って輝けるビジョンを示してほしい。

（滝沢市長）

例えば、８号線拡幅は建設課、工業流通団地は商工課と栄地域の将来について全体を考える部署は、市役所の中でも宙ぶらりんとなっている。今の時代、行政は市長からのトップダウンでビジョンを作るものではないと思っている。皆様方が考える栄地域のビジョン・将来像と我々が考えるものとを、もっと頻繁に話し合う機会を設けていきたいと考えている。

（佐藤委員）

栄地域のシンボルであるしらさぎ森林公園の遊具が酷い状態になっていると市長に伝えたところ、67,000千円の予算を付けていただき大変感謝している。

（滝沢市長）

しらさぎ森林公園は、１年を通じて楽しめる自然豊かな素晴らしい公園だと感じている。ポテンシャル、伸び代が相当あると感じているので、皆様方からもご意見・アイデアを頂戴

したい。

（長野委員）

５ページの木質バイオマス発電事業の取組がＢ評価となっているが、今後の展開はどうか。

（滝沢市長）

保内のバイオマス事業は、グリーンサーマルが管理しており、職員も２名で森林伐採も自前でやっている。国・県の脱炭素事業と上手く連携していきたいと思っているし、コロナ禍で自然回帰という流れにも上手くつなげていければと思っている。

（関崎委員）

平成27年度に作成された三条市総合計画を見ると、「下田地域とまちなか」を中心に課題解決に取り組んでいくという計画になっている。栄地域が全く触れられていないと感じる。この計画が策定された時期は、まだ栄地域の具体的な位置付けがはっきりしていなかったと思うが、その後、スマートインターや国道８号線の拡幅、帯織街苑、工業流通団地の造成など大きく変化してきている。次回の計画策定時には、栄地域に光を当ててほしい。

また、栄地域から下田地域に行く際も通る道心坂の整備をお願いしたい。八十里越開通後もメインの道路となる道心坂の道路整備を要望してほしい。

（滝沢市長）

次回の総合計画策定することになった場合は、栄地域の住民や皆様方の生の声を届けていただき、しっかりと検討していきたいと思っている。

また、道心坂の件を含めて、道路の要望は、市民の声をしっかりと国・県に届けていきたいと思っている。

（長谷川委員）

行政評価の目標設定の見方について、まずはＢ評価が多くなると市がある程度よくなるということか。目標設定の分かりやすいものがあると良いと思う。

また、一番大切な三条市のものづくりの評価がＣとなっているが、もっと努力が必要と感じるがどうか。

（滝沢市長）

目標設定は、民間であれば例えば、「売上」という分かりやすい設定ができるが行政の場合は、Ａ、Ｂ、Ｃ評価だからどうだということは直ちには分らない。

目標の設定・意義は大事ではあるが、わずか１年で三条のみならず、世界情勢が大きく変わったという状況もあり、あまり目標に拘り過ぎず、どのような設定がよいのか考えていきたい。

ものづくりの評価Ｃは心苦しいと感じている。これまで、三条市のものづくりは、どちらかというと職人や伝統工芸といったミクロ的な各論に特化した政策だった。一方で三条市全体の産業の底上げや数字と向き合ってこなかったと感じており、来年度以降は、マクロ的な視点を持ってその数字に拘って考えていきたい。

（高橋委員）

３ページの産業として成り立つ農業の確立がＣ評価となっている。ハードルを少し下げて、若い農業の担い手たちが手を上げやすい取組をお願いしたいがどうか。

（滝沢市長）

先日、弥彦村の小林村長とお話しする機会があり、小林村長は、これから弥彦村は枝豆に特化すると話されていた。海外への輸出も検討しているとのことであった。農業における若者の担い手不足は課題であると感じている。皆様方の意見を伺いながら、若い人たちから農業に興味を持っていただけるような、これまでと違った取組を検討していきたい。

（長谷川委員）

コロナ禍で市の税収は苦しい状況と思うがどうか。また、市の空き家対策や冬場の独居世帯・高齢者世帯への対応はどうか。

（滝沢市長）

税収は落ち込むものと想定している。一方でこれまで三条市が注力をしてこなかったふるさと納税は、昨年度ベースで三条市が７億円のところ、燕市は 49 億円もあり、全国ベスト 10 に入っている。ふるさと納税は、その内の約５割が市に入ることになっており、昨年度ベースで三条市には約３億円で燕市には約 25 億円も入ることから大きな差となっている。コロナ禍で税収は落ち込むと思うが、このふるさと納税については今、検討しているので近日中にお示ししたい。

空き家対策は、本来であれば管理者・持ち主等が適切に管理すべきことであり、市は責任を負わないということだと思う。そのような中でも、市が行政代執行制度を活用し、空き家を取り壊すことはできるが、そこで生じた費用をその管理者・持ち主等に請求したところで、そもそも空き家の管理も適切にされていない状況がある中では、結局、払ってもらえないとなると市は及び腰になるということである。特定空き家を生じさせないような解決策と向き合っていきたい。

除雪の件は、栄サービスセンターや市の担当課へ相談してほしい。

（宮嶋委員）

スクールアシスタント推進事業は、とても素晴らしい事業だと思う。スクールアシスタントの活動日数は、もっと大勢で短期間に勤務する形にしたほうがよいと思うし、三条市には人材も大勢いる。地域の方が学校内にいるということはとても効果がある。本事業は、目玉事業だと感じているが、大勢の方から少ない時間で働いてもらうという方法はどうか。

（滝沢市長）

スクールアシスタントの活動日数は、120 日から 135 日に増加した。御意見は所管課である子育て支援課に伝える。

（滝沢市長）

帯織街苑について皆様からお知恵を拝借したい。忌憚のない御意見をお聞かせいただきた

い。

（鈴木委員）

販売価格が高すぎることが全てだと思う。

（長谷川委員）

地元で宅地分譲している販売価格は、帯織街苑の半分の価格で、売行きはとても好調だと聞いている。

（関崎委員）

帯織街苑の分譲地は三角地が多く、家を造るにしても駐車場を造るにしても四角形でないと無駄が生じてしまい敬遠される。販売している分譲地を合わせて四角形にして販売するとよいと思う。

（堀内委員）

見附市で分譲販売している物件は、帯織街苑の倍の価格でも売れていると聞く。

ＰＲ不足だと思う。見附市では不動産業者が仲介しており、三条市も民間へ委託してはどうかと思う。

（滝沢市長）

近くにスーパーマーケットが無いことはネックになるのか。

（関崎委員）

自分は帯織に住んでいるが見附市にも近く、三条のまちなかにも車があれば行ける。近くにスーパーが有るか無いかということはあまり問題ないと思う。

（滝沢市長）

貴重な御意見をいただき有り難い。今後の参考としたい。

資料№.１－４「地方創生関係交付金について」について説明（米持政策推進課長）

（島影委員）

P12 に記載のとおり一部事業の実施を見送ることについては今の状況を踏まえればやむを得ないものと考えるが、他の実施できる事業については最善を尽くして成果を上げていただきたい。実施を見送ることに関して、イベントの準備等の関係でキャンセル料等が生じることはないのか。

（市長）

キャンセル料等が生じることはない。

上記の結果、資料№.１－４「地方創生関係交付金について」に基づき説明のとおり、空間 PR モデル活用事業の実施を見送ることとし、推進交付金実施計画の変更（当該事業の削除及び KPI の変更）を申請することについて異議はなかった。

(3) その他

なし

6　閉　会（午後０時５分閉会）